

アメリカ(ワシントン州)・タコマ市の 近隣ビジネス地区(NBRP 対象地区)の概況

- タコマ市近隣ビジネス地区再活性化プログラム(Tacoma's Neighborhood Business District Revitalization Program : NBDRP)

2007年3月
株都市構造研究センター 南部繁樹

1) タコマ市近隣ビジネス地区再活性化プログラム

(Tacoma's Neighborhood Business District Revitalization Program)

(1) 設立

タコマ市近隣ビジネス地区再活性化プログラム(Tacoma's Neighborhood Business District Revitalization Program : NBDRP)は、1991年に市内の近隣地区強化がタコマ市の最優先的施策であるとの認識からコミュニティ再生への直接的対応としてタコマ市が制度化したものである。

(2) 目的

NBDRPの目的は、ビジネスコミュニティに対する持続的な成長および改善の環境を用意することである。

- ・地区が有する歴史的趣きを維持発展させること
- ・強力な商業理念を高めること
- ・必要とされるニーズに対するサービスの提供を行うこと
- ・家庭的・友好的な特別イベントの開催

以上のもてなしを通して、世界中からの訪問者への対応を行うこととする。

(3) 推進体制

現在、市内12地区が指定され、プログラムのパートナーシップは、タコマ市内のNBDRP指定の12近隣ビジネス地区(近隣地区協同組織:Tacoma Neighborhoods Together :TNT)とNBDRPのスタッフ(市)間の一定したコミュニケーションフローを持って対応する。

(4) 各地区の体制

NBDRPの適用は、各地区に近隣地区協同組織(TNT)を設置することにより効力が発せられる。TNTは、非営利組織とし、連邦内国歳入法・501条(c)3「宗教、慈善、科学、公共安全検査、文化、教育、アマチュア・スポーツの促進、児童若しくは動物の虐待の防止などを目的とする団体」に規定する組織とする。

(5) プログラムに関する活動

12のビジネス地区のそれぞれからの代表から成っている「クロスディストリクト・アソシエーション」による潜在的な障害および機会を前もって発見するための会議を毎月開催する(月例会)。

再生の努力を行うビジネス地区の活動内容を紹介する隔月の「時事通信誌」を出版。

中心的な 4 つの活動

- ・ 物理的環境の改善 ... 交通の危険な歩道、虫害の取り外し静まること
- ・ 街路景観の整備 ... 運輸避難所、屑の容器、ベンチ、植栽
- ・ 販促・プロモート ... 特別イベントの開催、小売り販売、協同広告
- ・ 経済の再構築 ... 特性の目録作成、マーケティングの分析、集客の分析など

以上の活動は、対象地区内のボランティアと NBDRP のスタッフがパートナーシップ形態を形成し、行われている。

特に、直接援助を行う「ファサードの改善、中小企業の経営指導及び中小企業の融資支援」などは、より専門的な技術援助活動であることから、各 TNT は経済開発の分野の専門家そして訓練されたスタッフなどを採用して行うものとする。

2) タコマ近隣地区協同組織

(Tacoma Neighborhoods Together : T N T)

テーマ：芸術と再活性化による支援

(1) タコマ近隣地区協同組織 (TNT) とは

タコマ近隣地区協同組織 (TNT) は、タコマ市の中心的近隣地区の地区センターの再活性化と復興・向上を支援するために、非営利の内国歳入法 501 条 (c) 3 に規定される組織として構成されることが条件となっている。

TNT は、「近隣ビジネス地区 (neighborhood business district)」として位置づけられる。また、対象となる地区は、地区内で生活し働いている人々が、より住みよいコミュニティ形成を支援することができる方法を強く識別することができる人々であるものとされている。

これらの人々により「タコマ近隣地区協同組織」は設立される。

(2) TNT の目的

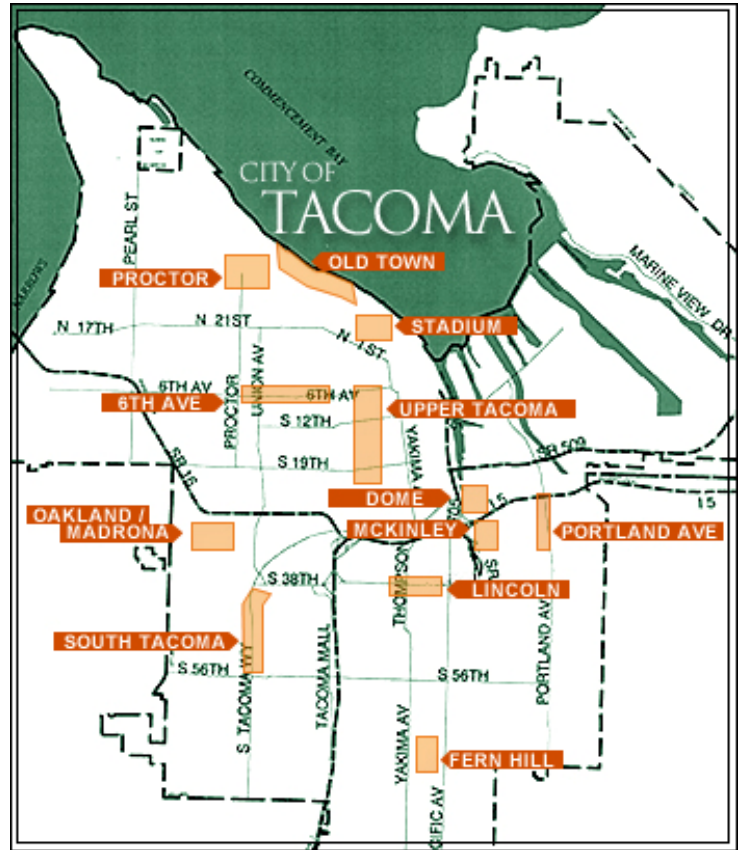
TNT の主な目的 (Goal) は、「コミュニティを高め、自らの近隣地区中心センターの再活性化するための目論見として芸術を使用すること」である。

パブリックスペースで芸術を使用することは、地区のアイデンティティおよび誇りを創造することを助けることができる。また、人々が自らの相違を認め、自らの共有の経験に感謝するための人々の協同体制を持つことを助けることができるのである。

さらに、近隣における強い芸術の存在は、住み、働くための適切な場として、近隣地区を適切な場所として強化することを通して、訪問者を引き付ける独特な場所の創造によって経済的基盤作りに貢献できる。

タコマ近隣地区協同組織への寄付は、課税控除がなされ、都市の近隣地区中心地域の芸術および美化の努力を支援するのに使用されている。

3) 位置図 (12 地区 : 2007 年 3 月現在)



今回の紹介地区 (6 地区)

- UPPER TACOMA 地区
- 6TH AVE 地区
- PROCTOR 地区
- OLD TOWN 地区
- STADIUM 地区
- DOME DISTRICT 地区



4) NBRP 実施地区概況

UPPER TACOMA 地区

丘の頂上に位置するコミュニティのビジネス中心地区が「**アッパー・タコマ地区**(UPPER TACOMA)」である。

この地区は、海岸沿いの製造所および倉庫群に近く、商店街が発展していった。地域居住者は多様な人種が世界中から流入したこともあり、労働階級のコミュニティが地域の中心を成していった。

地区の開発は 1890 年代から 20 世紀初めにかけて、11 番そして 13 番通りにケーブル・カーが整備され、トロリーライン(バス)のネットワークが整備されたのと同時に爆発的に行われた。



丘の頂上が開発され、道路およびサービス施設が整った。近隣地区には自動車が行き、それを必要とした商業およびサービス施設が急速に成長した。

地区住民は、仕事の行き返り買物をした。社会クラブや、劇場および野球場はコミュニティの場として居住者を糾合する機会を提供し、最初のビジネス連合組織等を作り上げた。

近隣地区では多様なパレード、音楽およびコミュニティイベントなどの多くの祭事が行われ、今日まで続いている。パブリック・アートは、公園地区の周辺や南 11 番および 13 番通りの古いケーブル・カーのルートのバス待合所等の歴史的開発地区で展開されている。

最初に区域内に店舗が整備された一帯は、近隣地区に活力および歴史的な特性を提供し続けている。ジョンソンキャンデー、バスケットなどのよく知られている地区内の多くの店舗は、地域に適切なサービスと微笑を提供している。

車を降りて、歩く快適性を体験したい、またはタコマ市の中心そしてその街の精神の一見を得たいと思う人々にもてなしの環境を提供している。





6TH AVE 地区

6 番通り地区は、タコマ市およびタコマ市の都心への主要な東西の幹線が通る容易なアクセスとなる通りの西の端に存在する。

現在の 6 番通りビジネス地区の境界は、ユニオン通りとプロクター通りの間にある。

6 番通りには、多様な小売り店やサービス業店が存在し、それらは 1930 年以來、地域居住者に食料品を提供してきた。また、給油所、薬屋、レストラン、アイスクリーム店、パン屋、劇場、肉屋、銀行および他の雑貨店なども立地している。

また、6 番通りは商業施設に加えて、沿道は古い歴史環境を提供し続ける「複数の教会」や住宅が存在している。とくに、Wilkerson の砂岩教会は美しい建築物である。(今日教会は、ビジネス連合の役員として、重要なボランティア活動の役割を担っている)。

6 番通りは、1950 年から 1980 年の間に、アメリカ国中で起きてきた近隣中心地区の繁華街および商業地の変容と同様の経験をした。それは、地域の核的な店舗や主要な小売商業者が郊外のモールの出現によって経済的なダメージを受けたことである。

その後、6 番通りが経済的な再生を開始したのは、1990 年代の半ばであった。



6 番通りのビジネス連合協同組織は、1991 年に通りの経済状況再生を目的に設立され、タコマ市の「近隣ビジネス地区再生プログラム」を用いて地区再生に組んできた。メンバーは商業者を含む不動産オーナー 300 人である。表通りの裏は住宅地となっていて、住宅居住者とのメンバーシップも形成している。運営費は財産税が充てられている。

この連合協同組織は、区域の物理的な環境改善と安全の増進に焦点を合わせ、街路景観 (streetscape) の改善や歩行者の快適さの向上を目途とした基本計画 (Master Plan) を作成した。

その結果、6 番通りは再開発がなされ、改造されたより古い建物や新しい店先が出現し、現在、地区はユニークなレストラン、喫茶店、骨董品および時計店、サービスおよび質の高いナイトクラブなどの多種多様な店舗が存在する地区として知られている。



6番通りは、偽りなくルネサンスを成し遂げたタコマ市のビジネス地区の1つである。



PROCTOR 地区

プロクター地区はアレンC・メイソンによって 1890 年に開発された。

1901 年までに、代理人地区はワシントン州の小学校が現在の位置で 2 部屋の校舎を開校したこと十分な居住者を引き付けていた。

1910 年までに、薬店、Wolverine の食料雑貨品店および肉市場の 3 つのビジネスが存在した。その後、2 つのデパート、2 つの劇場、3 人の婦人帽子屋、4 つの食料雑貨、3 軒のパン屋およびポップコーンの店が設置された。

1920 年代には活況を呈し、不況の時代に生き延びた。居住者およびビジネス所有者は同様に一緒に活動し、共同体意識が根付き活力を高めた。この間に、現在まで続いているラップサイセンパレードが 1929 年に最初の子供のペットショーの祭典として始まった。

数年後 1934 年に、コミュニティは Halloween を祝った！子供のパレード・、鼓笛隊および巨大な篝火などが始まった。

2001 年に、プロクター地区は買物、食事、そして娯楽施設など 75 店舗が存在するまでになった。個人またはビジネスにとって、住宅地から歩ける距離に色々なサービス提供施設が整ったのである。

街路環境の主要な改善は、1990 年代に近隣ビジネス地区再活性化プログラム (NBRP) の支援によってなされた。

芸術のプロジェクトは、26 番通りで円形浮彫りのモニュメントおよびスクランブル交差点 (crosswalk) の整備が 2002 年に行われた。

プロクター地区連合協同組織およびビジネスメンバーは、先祖のアレンC・メイソンの意思を受け継ぎ、地区の歴史を維持、発展するために活動している。

現在、プロクター地区連合協同組織は、使命記述書によってビジネスおよびコミュニティを結合し続けている。それは、生活環境基準および地区の特性を高め、社会事業を促進するための強固な組織である。





OLD TOWN

オールド・タウン地区の人々は、タコマ市の発祥の地であることに関する明瞭な誇りを持っている。



最初の白人が入植したのが 1864 年であった。

1865 年に、彼は Carr の通りに丸太小屋を造った。彼は最初の市長、公証人および郵便局長として活躍した。

オールド・タウン地区は、港の海岸線に立地した製錬所やドックおよび製材製造所の近くに商業施設などが集中立地した。食料雑貨品店は、木材置場や船舶所に雇用されていた労働者の増加に貢献する形で作られた。

タコマ市の最初の教会「古い st. ピーター」は 1873 年に造られ、現存している。

また、スロベニアホール (Slavonian Hall) 19 世紀末に移住してきたスロベニア人の多くの移民の社会的娯楽活動のための会合場所として建造された。建築構造は歴史的な遺産として国内登録で名誉を与えられている。

1880 年代後半、船員組合が古い町の水辺地帯に働く港湾労働者および船員のために組織された。彼らの寄宿舎および家屋は、現在もタコマ市の歴史的な記録にリストアップされている。

新しいタコマ市の居住者は、1880 年に唯一の公式政府を作った。それまでの地区が「オールド・タウン」と称されている。



オールド・タウンのビジネス協同組織（TNT）の概要は以下のとおりである。

- ・地区の環境を促進する取り組みを行うことにより、オールド・タウンをさらに魅力的な場所とするためにビジネス地区環境を向上させ、ビジネスにとっての訪問者を増やすこと。
- ・TNT は、地区の多彩な歴史を維持するための努力にとって有益な組織である。
- ・ビジネス地区を育成し続け、レストラン、小売り、レクリエーションおよびコミュニティに基づかせていた活発活動の関係を提供できる。
- ・TNT 地区は、北 30 番通りに最近完了された壁画、オールド・タウン公園の整備、建物の復元、および TNT の芸術委員会によって 2 つの歴史的な歩行空間の整備を行い、その結果、自らの財産価値を高めた誇りを確認している。

地区への来訪者は、魅力的なパンフレットによって地区内の情報を得て、地区内の博物館および多くの地区内環境を堪能している。



STADIUM 地区

スタジアム地区は、北西部鉄道の発祥地、材木および船積み事業家が事業を営んだ場所として作られたところである。

St. Helens および競技場の方向に広く、穏やかに傾斜した道は、タコマ市都心のビジネス地区と結んでいる。

今日、競技場近くのビジネス地区および周囲の近隣地区は、都市内の4つの歴史的な地区の1つである。

競技場近くの高等学校は、贅沢なツーリストのホテルとして1891で最初に設計されたものであるが、1893年に火災によって消滅され、1906年に高等学校として再建されたものである。

1930年～40年に地区内の住宅地には、スマートな店が出店し、多くの商品およびサービスが提供され、地区住民に歓迎された。Scotty Caf によるドラッグストアは、北1番通りのランドマークとなった。また、レストランも今日までその伝統を受け続けている。

スタジアム地区のビジネス地区は、1991年以來のタコマ市の近隣ビジネス再活性化プログラム地区として都市の活性化を促進し、その活力を高めるために貢献している。

周囲のコミュニティとともに TNT は、Wrights 公園に都市で最も大きいイースターエッグのモニュメントを置き、地区内の家族にとっての友好的な Halloween の活動に貢献している。

また、毎年、友好的なシボレーを持つライト公園そしてパートナーであるタコマ市民のための夏の音楽祭や、歴史的な祝祭を提供している。





DOME DISTRICT 地区

ドーム地区は、タコマ市近隣ビジネス地区再活性化プログラムによって 1991 年に組織された市内 6 つの近隣ビジネス地区の 1 つである。

タコマ市のドームは、ドームの東側にあった Freighthouse のスクエアに作られた。その周辺は、その後まもなく革新され、タコマ市の小売りの一等地の 1 つになった。

さらに東側通りの古い消防署は再開発により事務所ビルとなった。

1990 年、ドーム地区に、通勤者の交通便利性を提供することも踏まえてタコマ市のドームが建設された。ドーム地区の開発グループは、1991 年以來、地区を開発し、新しい顧客を引き付け、ビジネスを保ち、新しい都市機能を導入するための努力を行い地域ビジネスを助けている。



TNT は、都市と地区（やがてドームによってだけ、ヤシの木によって私達の地区をまた見つけられる）を増進する組織として、街路景観（streetscape）の快適さ及び公共の芸術環境を用意するために取り組んでいる。

TNT はまた、軽い課題、通勤者からの課題、通りの跨線橋の改善及び他の建設プロジェクトのあり方を示唆し、新たな環境を手に入れるために地区内において発展、成長しようとする中小企業を支援している。



